

成果報告書 概要

2012年度助成 (実践期間：2013年4月1日～2014年12月31日)

タイトル	もっている知識を総合的に活かす 学びのグローバル化を目指して 地域と連携し、生徒たちの科学的思考に基づく言語活動の充実を目指す		
所属機関	横浜市立都岡中学校	役職 代表者 連絡先	学校長 川村 雅昭 045-953-2301

対象	学年と単元：	課題
小学生	A 3年「科学技術と人間」(1, 2年)	○ 教師の指導力向上を目指す教員研修, 実験方法指導, 教材開発
○ 中学生	B 3年「自然と人間」(1, 2年)	○ 子ども達の科学的思考能力の向上を目指す授業づくり, 教材開発
○ 教員	3年「酸とアルカリ, イオン」	○ ものづくり(ロボット製作等)による, 科学分野で活躍する人材の育成
○ その他	全学年理科クラブ ピタゴラスイッチ製作他	○ その他



(H25) 夢叶える力, 起業家に学ぶ(全校理科) 興味・関心の方向性, 社会で役立つ科学技術への興味付け



(H26) なぜ理科を学ぶか, (全校理科) 自然事象への興味・関心・意欲と進路や未来への定着と動機付け

実践の目的：	第一線で活躍する講師との出会い, 最先端の科学技術との出会い, 自然との出会いを通じて ①夢をもって学び続けようとする意欲を引き出す ②プレゼンテーションなどの科学的スキルを向上させる ③生徒の言語活動・コミュニケーション力を引き出す④本場のプレゼンテーションを体験することにより教員の指導力の向上に繋げる。理科のスキルを生きるスキルにするために言語活動を充実させ, 公立中学校の教育に今可能なイノベーションに挑戦する。
実践の内容：	<ul style="list-style-type: none"> ・全校理科の活用で生徒, 教員, 地域で課題の共有を図る。A「夢叶える力 起業家に学ぶ」B「なぜ理科を学ぶか, 未来へのときめき わくわくサイエンス」など。 ・理科クラブで発展的な学びを体験させ, 全体と地域へ発信し知識や体験の共有を図る。 ・教職員の感動体験で指導の充実と指導力の向上を図る。
実践の成果：	<ul style="list-style-type: none"> ・理科的な体験を学校全体で多く共有することにより, 成績や学力に関係なく「理科をもっと学びたい」を筆頭に, 「理科が好きになった」「〇〇(宇宙など具体)調べたい」という自然事象への関心・意欲が9割以上の生徒で向上している。 ・科学技術がものづくりに繋がることに気づき, 学校で学んだことが将来役立つことを実感し進路を考えたり, 他教科と関連付けたりできる生徒が増えてきた。
成果として特に強調できる点：	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学んだことが社会でどう役立つかという視点で, 学習意欲が学年と共に向上し, 9割の生徒が理科を好きになったといえるようになり, 授業で感動体験できた。 ・教員の外部機関, 外部人材, 外部機関を活用するスキルが大幅に向上した。科学的スキルの向上を他の教科でも生かすチーム力が生まれた。